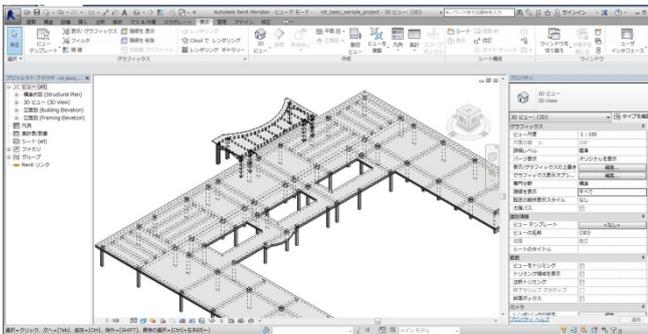


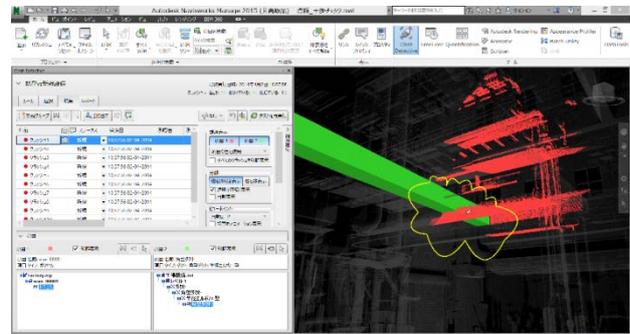
オートデスク、BIM/CIM を適用した業務効率向上を支援する 建築・土木インフラ業界向けアプリケーションの新バージョンを 4月11日より順次発売

オートデスク株式会社は、建築・土木インフラ業界向け BIM/CIM アプリケーションの新バージョンを4月11日より順次発売します。これらのアプリケーションは、建築／土木インフラ業界の広範な業務ワークフローに BIM/CIM を適用しながら、企画、設計、施工、維持管理を効率的に行えるように、デスクトップ コンピューティングとクラウド コンピューティングの技術を融合させて、業務の生産性をさらに向上させることを目指しました。

建築／土木インフラ業界においては、比較的大規模な案件で 3D 設計データが活用されていますが、中小規模の案件や施工段階以降などにおいては、設計データを使用した業務効率向上にはまだ改善の余地が見られます。今回の新バージョンでは、企画から設計、施工、維持管理のライフサイクルで、関係者が情報に対して同じ解釈を持って業務を遂行できるように、社内のコンピュータ、施工現場のモバイル端末、そして高度な処理を実現できるクラウドサービスなどを業務ワークフローに応じて組み合わせて利用していただけるように機能強化を行いました。また、日本のユーザが便利に使えるように、日本市場向けに開発した機能も新たに搭載しました。



Autodesk Revit
隠線表示の画面イメージ



Autodesk Navisworks
点群データを使った
干渉チェック画面イメージ



Autodesk InfraWorks
新 UI 画面イメージ

各アプリケーションの主な概要

製品名	希望小売価格(税別)	発売日
Autodesk® Revit® Architecture 2015 (建築設計向け BIM アプリケーション)	<ul style="list-style-type: none"> 本体: 805,000円 *Maintenance Subscription: 121,000円より *技術サポート、クラウドサービスなどメンテナンスサービスの名称 	4月11日
Autodesk Revit Structure 2015 (構造設計向け BIM アプリケーション)	<ul style="list-style-type: none"> 本体: 805,000円 Maintenance Subscription: 121,000円より 	
Autodesk Revit MEP 2015 (設備設計向け BIM アプリケーション)	<ul style="list-style-type: none"> 本体: 805,000円 Maintenance Subscription: 121,000円より 	

主な新機能 (A=Architecture に搭載、S=Structure に搭載、M=MEP に搭載)

- 3D モデルで表示される線を手書き風に変更可能。また、ギザギザに表示される斜線などを滑らかに表示するアンチエイリアシング機能を搭載 (A、S、M)
- これまで読み込みのみ可能だった IFC データのリンク添付が可能になり、データ活用の利便性を向上 (A、S、M)
- これまで別途ダウンロードで利用可能だった空調や電気機器などの設備系コンテンツをアプリケーションのライブラリに追加し、利便性を向上 (M)
- パーツ化した壁の中で、コンクリートに定義した場所にモチアミ配筋を入れることが可能 (S)
- 3D モデルの隠線を表示して、裏側のオブジェクトを理解することが可能 (日本のユーザからの要望機能) (A、S、M)
- 構造フレーム要素を水平・垂直方向にずらして(オフセット)位置を合わせることが可能 (日本のユーザからの要望機能) (S)
- 筋交いの起点位置を任意の位置に配置することが可能 (S)

製品名	希望小売価格(税別)	発売日
Autodesk Revit LT® 2015 (Autodesk Revit で提供する包括的な BIM 機能のうち、3D 詳細設計と図面作製、設計図書の作成機能に特化した簡易版 Revit)	<ul style="list-style-type: none"> 本体: 190,000円 Maintenance Subscription: 27,000円より 	4月11日

製品名	希望小売価格(税別)	発売日
Autodesk Navisworks® Simulate 2015 (さまざまな形式の 3D 設計データを統合し、5D 施工シミュレーション、レンダリングが可能なプロジェクトレビュー アプリケーション)	<ul style="list-style-type: none"> 本体: 295,000円 Maintenance Subscription: 44,000円より 	4月11日
Autodesk Navisworks Manage 2015 (上記 Simulate に加えて干渉チェックも可能なアプリケーション)	<ul style="list-style-type: none"> 本体: 875,000円 Maintenance Subscription: 131,000円より 	

主な新機能

- 数量拾い機能を強化して、ポリライン、クイックライン、クイックボックスなどを使った

<p>2D 数量拾いが可能に。また、3D 数量拾いでも、選択ツリーからドラッグ&ドロップで複数項目の数量拾いができるように機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● レンダリング機能「Autodesk Rendering」を強化して、「Autodesk マテリアル」のライブラリからマテリアルをオブジェクトにドラッグ&ドロップで貼りつけることが可能。また、クラウド レンダリングに対応し、クラウド コンピューティングを活用した高品質なビジュアライゼーション作成を実現 ● 「Autodesk ReCap™」の点群データをボクセル別にインポートし、Navisworks Manage の干渉チェック実行時に、干渉位置を正確に判別。また、Autodesk ReCap の点群データを NWD ファイルに埋め込むことも可能 	
--	--

製品名	希望小売価格(税別)	発売日
Autodesk InfraWorks 2015 (都市・宅地開発や土木・インフラ整備など向け CIM アプリケーション)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 730,000円 ● Maintenance Subscription: 110,000円より 	4月11日
主な新機能 <ul style="list-style-type: none"> ● 直観的インターフェースを採用して、ワークスペースを全画面に表示したり、コマンドメニューを必要な時にのみ表示させるようにして操作性を向上 ● 対応するデータフォーマットを追加。「AutoCAD® 3D DWG」「Civil 3D DWG」「Bentley 3D DGN」「IFC」「SketchUp (SKP)」 		

(ご参考: 以下は3月28日に発表した AutoCAD シリーズですが、建築・土木インフラ業界向けアプリケーションとしてご参考までに記載します)

名称	発売日	希望小売価格(税別)
Autodesk AutoCAD Architecture 2015 (建築設計に特化した機能を搭載した CAD アプリケーション)	4月11日	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 730,000円 ● Maintenance Subscription: 110,000円より
Autodesk AutoCAD Map 3D 2015 (CAD データや GIS データを取り込んで公共インフラや土木設計の調査や計画を行うためのアプリケーション)	3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 730,000円 ● Maintenance Subscription: 110,000円より
Autodesk AutoCAD Civil 3D® 2015 (土木設計に特化した機能を搭載した 2D/3D CAD アプリケーション)	4月9日	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 875,000円 ● Maintenance Subscription: 131,000円より
Autodesk AutoCAD P&ID 2015 (配管設計に特化した機能を搭載した CAD アプリケーション)	4月4日	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 805,000円 ● Maintenance Subscription: 121,000円より
Autodesk AutoCAD Plant 3D 2015 プラント設計に特化した機能を搭載した CAD アプリケーション	4月4日	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 1,315,000円 ● Maintenance Subscription: 197,000円より
Autodesk AutoCAD Raster Design 2015 (ラスター編集、ラスター形式からベクター形式へのデータ変換を行うためのアプリケーション)	4月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 295,000円 ● Maintenance Subscription: 44,000円より
Autodesk AutoCAD Revit LT™ Suite 2015 (AutoCAD LT と Revit LT を同梱したパッケージ)	4月11日	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 270,000円 ● Maintenance Subscription: 38,000円より
Autodesk AutoCAD LT Civil Suite 2015 (AutoCAD LT と電子納品データ作成アプリケー	4月末	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体: 238,000円 ● Maintenance Subscription: 36,000円より

シオン「Autodesk CALS Tools」をセットにした パッケージ)		
---	--	--

※希望小売価格は、日本における当該製品またはサービスに対するオートデスクのメーカー希望小売価格(税別)を示します。希望小売価格にインストール費は含まれません。オートデスク認定販売パートナー、販売店の販売価格はオートデスク認定販売パートナーおよび販売店が決定します。希望小売価格は参考値としてご参照ください。その他の諸条件が適用される場合もあります。

※ オートデスク認定販売パートナー、販売店から購入される場合の価格は、直接パートナーや販売店にお問い合わせください。

以上

オートデスク株式会社概要

本 社： 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 24F
代表取締役社長： ルイス・グレスパン
設 立： 1985年4月1日
資 本 金： 1億円
ホームページ： <http://www.autodesk.co.jp>

Autodesk, Inc.会社概要

豊かな想像力と発想を基に、より良い世界を創り出す —— オートデスクは、より良い世界を創り出す「デザイン」分野で世界中の人々を支援しています。設計者から、建築家、デジタル・アーティスト、学生、ホビー・ユーザーまで、あらゆる人々が自身の創造力を存分に発揮し、大きな成果を上げられるよう、オートデスクは優れたソフトウェア製品を提供します。

◆ 報道関係者問い合わせ窓口

オートデスク 広報 池田

Email: kazuomi.ikeda@autodesk.com

Tel: 03-6221-3513

Autodesk、AutoCAD、Civil 3D、Navisworks、Revit、Revit LTは、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。該当製品およびサービスの提供、機能および価格は、予告なく変更される可能性がありますので予めご了承ください。また、本書には誤植または図表の誤りを含む可能性があります。これに対して当社では責任を負いませんので予めご了承ください。

© 2014 Autodesk, Inc. All rights reserved.